

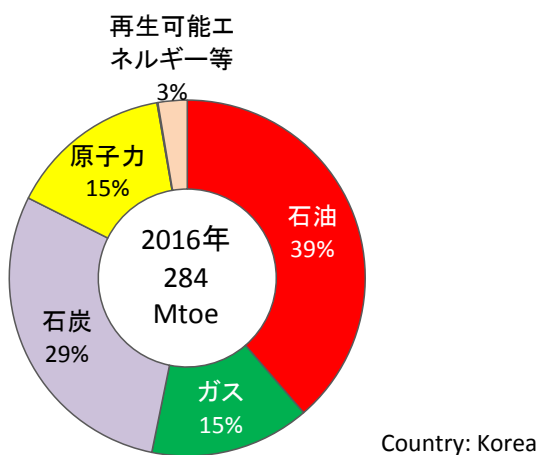
## 1-2 韓国

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

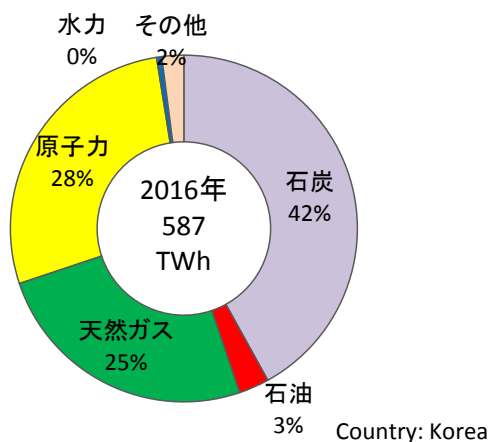
- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 284 百万 toe (日本の 0.67 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 5.59toe (日本の 1.67 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 18%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 586.0 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 51.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 11.60CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.29 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 石炭 189 年

一次エネルギー供給構成 (2016 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー担当機関は産業通商資源部 (Ministry of Technology, Industry and Energy, MOTIE) で、2017年12月時点の長官はベク・ウンキュウ(白雲揆)。

### (2) 基本政策

- 2006年の「エネルギー基本法」制定によって、「国家エネルギー基本計画」が20年を計画期間として5年ごとに策定される。
- 2017年12月、「第8次電力需給計画」を発表。「第3次エネルギー基本計画」、「第13次天然ガス需給計画」は2018年中に策定・決定される予定。

### (3) 最近の動向

- 2017年5月、大統領選挙において反原子力・反石炭火力を公約として掲げたムン・ジェイン(文在寅)氏が当選、大統領に就任。
- 2017年6月、設計寿命を終えた古里原発1号機が計画どおり運転を終了。韓国で廃炉になるのは古里1号機が初めて。
- 2017年6月、ムン大統領は原発政策を全面的に見直し、原発中心の発電政策を破棄しLNGや再エネによる発電を柱にする方針を発表。新規原発の建設計画を白紙化するとともに、環境汚染の一因となっている石炭火力も新設を全面中止、老朽化した10基を大統領任期内に閉鎖する。
- 2017年7月、韓国水力原子力公社(KHNP)は新古里5・6号機の建設を一時中断。政府は3ヶ月間国民的議論を経て、10月に工事を再開することに決定。
- 2017年12月、産業通商資源部は2031年まで15年間の電力需給見通しと電力設備計画を盛り込んだ「第8次電力需給基本計画」を発表。原子力と石炭火力を段階的に削減していく一方、再エネを大幅に拡大するなど、エネルギーの転換を押し進める。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日韓両国間の貿易・投資の拡大に加え、第三国におけるプラント受注や資源開発を目的とする日韓企業間の連携が増加している。
- 2017年3月、JERAは韓国ガス公社(KOGAS)およびCNOOC Gas and Power Trading & Marketing Ltd. (所在地:香港)とLNGビジネスに関する覚書を締結。LNG共同調達等のLNGビジネスにおける連携方法を協議する。
- 2017年10月、韓国電力公社は北海道千歳市で同社海外初のエネルギー貯蔵システム複合型太陽光発電所の建設を完了し、11月に商業稼動を始めた。出力は28MW。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Korea

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		284 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		5.59 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.22 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		18 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2015年)		586.0 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2015年)		11.60 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	29 %
	石油	39 %
	天然ガス	15 %
	原子力	15 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	3 %
(8) エネルギーの輸入依存度		82 %
(9) 石油の輸入依存度		99 %
(10) 輸入原油の中東依存度		85.8 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア
	第2位	クウェート
	第3位	イラク

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : IEA Oil Information 2017